

令和元年度社会福祉法人なづな学園

事業報告

目次

事業の概要	1
業務報告	2
各事業の状況	7
1. なづな学園	7
2. かしの木学園	12
3. サービスセンターふらっぷ	17
4. わかな	20
5. グループホーム	23
6. 計画相談支援	26

令和2年6月1日

社会福祉法人なづな学園

事業の概要

令和元年度は法人設立 50 周年を迎えた。記念行事としては利用者、役職員、関係各位への感謝と将来を見据えて 50 年記念史を発行した。

令和元年度も引き続き、なづな学園は生活介護と就労継続支援 B 型の多機能型事業所として、かしの木学園は生活介護、就労移行、就労継続支援 B 型の多機能型事業所としてサービス提供を行った。施設利用者数はなづな学園（定員 35 名）は在籍数 37 名、かしの木学園（定員 55 名）は在籍数 59 名であった。1 年間の平均利用者数は、なづな学園は 31.0 人、かしの木学園は 54.0 人であった。就労支援事業収入としては前年度比でなづな学園は 93.2%、かしの木学園は 86.9%と減少した。

グループホームについては定員を 1 名増やし 28 名とした。月間平均利用人数は 24.0 人であった。

ふらっぷについては、月間平均サービス提供時間が平成 30 年度の 1774 時間から 1759 時間に若干減少した。平成 26 年 3 月に開所した障害児通所支援・放課後等ディサービス「わかかな」の 1 日平均利用者数は平成 30 年度の 7.5 人から 7.8 人に増加した。平成 29 年 12 月より、サービスセンターふらっぷにおいて開始した 65 歳以上の利用者を対象にした介護保険事業サービスは月間 27 時間から月間 34 時間に増加した。

嵐山地区に利用者の高齢・重度化に対応するため土地を取得した。敷地面積は 932 m²（約 282 坪）あり、日中支援およびグループホーム施設を建設する予定である。

新規設備・施設改修として、かしの木学園のエアコン室外機の改修、本部においては本部事務所の狭隘化の解消のためフリーアドレス什器に置換、また請求事務に使用するシステムを他社システムに変更した。

人事労務面では、令和元年度は常勤支援員として男子 3 名、女子 1 名を採用した。新規採用者についても独立行政法人福祉医療機構退職手当共済制度に継続して加入できるよう便宜を図った。

人材育成については新人職員についてきめ細かく指導・相談を行うためプリセプター制度を平成 28 年度から導入試行し令和元年度も継続実施した。

職員処遇面では、令和元年度の処遇改善加算は前年度比 105%と若干増加した。還元策としては常勤支援員については基本給を 1 万円アップ、残りは年 2 回一時金として支給した。非常勤支援員・世話人・登録ヘルパーについては時給 100 円のアップを行い、年 2 回一時金として支給し処遇面での充実を図った。また、令和元年 10 月より創設された特定処遇改善加算についても常勤職員、非常勤職員に還元した。

令和元年度決算結果は法人全体でサービス活動収益は 443 百万円（前年比 104.7%）、サービス活動増減差額は 1978 万円（前年比 77.9%）となった。事業所別サービス活動増減差額についてはなづな学園を除く全事業所でプラスであった。また、元年度決算結果に基づく社会福祉充実残高は△73.8 百万（前年度△33.6 百万）で計画の策定は不要となったが、地域における公益的な取組については積極的に実施していきたい。

令和元年度は京都市による指導監査は対象外、また実地指導もなづな学園、ホームなづな、ホームななくさは対象外であったが、年間を通して法人および各事業所とも適正な運営ができたと考えている。

業 務 報 告

1. 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会の開催及び監査の実施

(1) 理事会の開催

開催日	議案等	内容	結果
令和元年 6月7日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項	平成30年度事業報告について 平成30年度決算報告について 理事・監事選任の件 定時評議員会の招集について 理事長職務報告	承認 承認 承認 承認
6月24日	第1号議案	理事長の選任について	承認
7月25日	第1号議案 第2号議案	嵐山地区事業計画について 設計事務所との契約について	承認 承認
令和2年 2月5日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 報告事項 報告事項	令和元年度第1次補正予算(案)について 定款変更について 評議員会の決議について 嵐山案件の進捗状況について 理事長職務執行状況報告	承認 承認 承認
3月25日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 報告事項	令和元年度第2次補正予算(案)について 令和2年度事業計画(案)について 令和2年度当初予算(案)について 評議員会の決議について 経理規程の改訂について 理事長の選任について 職員の退職・異動・採用について	承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会の開催

開催日	議案等	内容	結果
令和元年 6月24日	第1号議案 第2号議案 報告事項	平成30年度決算報告について 理事・監事の選任について 平成30年度事業報告	承認 承認
令和2年 2月18日	第1号議案 第2号議案	令和元年度第1次補正予算について 定款変更について	承認 承認
令和2年 3月31日	第1号議案 第2号議案 第3号議案 報告事項	令和元年度第2次補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度当初予算について 理事長選任について	承認 承認 承認

(3) 監査の実施

実施日	令和元年 5 月 23 日
監事名	東 監事、小坂監事
監査項目	平成 30 年度事業に係る理事の業務執行状況、法人の財産管理状況、法人及び施設の業務執行状況、法人及び施設の会計状況、その他の状況について実施
監査結果	監査項目に対しすべて適正、指摘事項なし、総括（認定）

2. 会議・研修・行事等の開催状況

別紙記載の通り

3. 職員の構成

(1) 常勤職員 週 5 日勤務者

① 事業所別

令和 2 年 3 月 31 日現在

事業所	施設長等	主任以上	支援員	事務員	計
なづな学園	1	2	8	1	12
かしの木学園	1	2	15	1	19
ふらっふ	1	2	7	0	10
わかな	(1)	1	2	0	3(1)
グループホーム	1	1	0	0	2
相談支援	(1)	0	(6)	0	(7)
人数計	4(2)	8	32(6)	2	46(8)

但し、上記人数には育児休業者 2 名、3 月 31 日付退職者 1 名を含む。

② 職員区分別

令和 2 年 3 月 31 日現在

正職員	嘱託	有期契約	計
40	4	2	46

③ 新規採用者と退職者

令和元年度

	正職員	嘱託	有期契約	計
新規採用	4	0	0	4
退職者	2	0	0	2

退職者 1 名は 4 月 1 日付で再雇用

(2) 非常勤職員

令和 2 年 3 月 31 日現在

事業所	非常勤職員						合計
	世話人	ヘルパー等	支援員	その他	嘱託医	看護職員	
本部	—	—	—	5	—	—	5
なづな学園	—	—	8	—	1	1	10
かしの木学園	—	—	11	—	1	1	13
ふらっふ	—	26	3	—	—	—	29

わかな	—	13	1	—	—	—	14
グループホーム	35	—	—	—	—	—	35
合 計	35	39	23	5	2	2	106

4. 定款・規程等の制定・改定

名 称	理 由	施行日
定款変更	基本財産の追加	R2.4.6
経理規程	嵐山地区に係る拠点区分の追加	R2.3.25

5. 寄付金・補助金等の取得状況

(1) 寄付金

単位：円

寄付者の属性	区分	件数	金 額	拠 点 区 分
利用者家族、その他	経	2	20,000	本部
職員、旧職員	経	2	40,000	本部
利用者家族、その他	経	6	48,000	なづな学園
利用者家族	経	1	300,000	かしの木学園
利用者家族	施	1	10,000,000	嵐山
令和元年度計	経/施	12	10,408,000	前年度比 (241%)
平成 30 年度計	経/施	21	4,324,000	前年度比 (555%)
平成 29 年度計	経	9	778,000	前年度比 (72%)

区分欄の「経」は経常経費寄付金収益、「施」は施設整備寄付金収益

(2) 補助金等

単位：円

交付団体および交付の目的	区分	交付金額	拠点区分
京都労働局 キャリアアップ助成金	障	2,160,000	本部
京都府 地域アート展開催事業補助金	障	100,000	なづな学園
軽減税率 レジスター補助金	障	36,000	なづな学園、かしの木学園
京都市 重度知的障害児者特別加算費	障	1,008,000	なづな学園
京都市 重度知的障害児者特別加算費	障	672,000	かしの木学園
京都市 民間社会福祉施設サービス向上補助金	障	550,000	かしの木学園
京都府 民間社会福祉施設サービス向上補助金	障	1,100,000	かしの木学園
京都労働局人材開発支援助成金	障	136,874	ふらっふ
令和元年度計		5,762,874	前年度比 (116%)
平成 30 年度計		4,953,777	前年度比 (62%)
平成 29 年度計		8,049,728	前年度比 (144%)

区分欄の「障」は障害福祉サービス等事業

(3) 職員処遇改善助成金

区分	事業所	助成額 (円)	支給額
令和元年度上期 (4月～9月)	なづな学園	1,619,667	常勤支援員は基本給を月1万円、 一時金として上期90,000円、下期90,000円支給 非常勤者は基本給を100円/時間
	かしの木学園	2,755,690	
	ふらっふ	4,734,337	
	わかな	1,256,788	

	グループホーム	3,052,642	アップ。一時金として非常勤支援員は上期 130 円/時間、下期 130 円、世話人は上期 100 円/時間、下期 105 円/時間を 6 月と 12 月に一時金支給した。 さらに特別手当として半期単位に総就労時間に応じて 2 万円～10 万円を支給した。
	上期計	13,419,124	
令和元年度下期 (10月～3月)	なづな学園	1,552,226	
	かしの木学園	2,633,657	
	ふらっふ	5,269,122	
	わかかな	1,102,113	
	グループホーム	3,097,134	
	下期計	13,654,252	
令和元年度	年間計	27,073,376	前年度比 105.6%
平成 30 年度	年間計	25,639,588	前年度比 113.4%
平成 29 年度	年間計	22,596,185	前年度比 138.7%
平成 28 年度	年間計	16,296,306	前年度比 97.7%

(4) 特定処遇改善加算

区分	事業所	助成額 (円)	支給額
令和元年度下期 (10月～3月)	なづな学園	568,267	常勤職員にはランクに応じて月 12000,6000,3000 円を手当として支給、非常勤者には時給 50 円を加算して支払う
	かしの木学園	917,424	
	ふらっふ	1,171,122	
	わかかな	94,370	
	グループホーム	627,826	
	上期計	3,379,009	

6. 不動産の取得

嵐山地区に利用者の高齢・重度化に対応した施設用として土地を取得

(住所) 京都市西京区嵐山上海道町 78 番地、78 番地 1 (敷地面積) 932 m²

7. 渉外費・設備改修・備品取得の状況 (本部計上分)

科目	内容	金額 (円)
渉外費	法人 50 周年記念品	577,500
	同 記念誌	1,210,000
事務消耗品費	ノートパソコン (10 台)	867,680
	タブレット (8 台)	121,228
備品	本部リニューアル什器	657,169
	ワイズマン請求システム (5 年一括)	3,245,000
保守委託費	福祉の森保守費	407,656
	パソコン 5 年間保守費 (10 台分)	277,156
賃借料	経理システム年間使用料	609,120
	給与勤怠システム年間使用料	367,740
手数料	給与・勤怠管理システムサポート料	291,600
	グループウェア (Desknet's) 使用料	313,920
	セキュリティソフト (ESET) 使用料	112,919
合計		9,058,688

別紙 行事等報告書（本部）

月	会議	行事	研修会（参加）	その他
4月	管理者会議（2回）	辞令・入職式(3/31)		昇給辞令(4/22)
5月	管理者会議（3回）	監事監査(5/23)	指導監査等説明会(5/22) 障害福祉サービス事業者集団指導(5/31)	施設見学会(5/7)
6月	管理者会議（1回）			ビジネスマナー研修会(6/13)
7月	管理者会議（2回）		消費税軽減税率実務対応セミナー(7/30)	
8月	管理者会議（3回）	合同職員会議（8/28）	社会福祉法人経営者セミナー(8/5)	住建設計見学会(8/26)
9月	管理者会議（2回）			
10月	管理者会議（2回）	第一回建設委員会（10/4）		
11月	管理者会議（3回）		京都市役員等研修会(11/12)	
12月	管理者会議（1回）			
1月	管理者会議（1回）		経営協セミナー(1/17) 京都税理士法人新年例会(1/21)	
2月	管理者会議（2回）	入職式（2/3） 新春の集い・学習会「土と炎に魅せられて」と（2/15）		法人設立50周年記念誌発行(2/15)
3月	管理者会議（2回）	第二回建設委員会(3/4) H31年度入職者懇談会(3/25) H31年度退職辞令式(3/31)		

各事業の状況

1. なづな学園

平成31年度（令和1年）は、利用者に関しては、4月に2名の新規利用者を迎え、職員に関しては、1名の新規入職者を迎え、利用者37名、管理者含め職員12名の体制でスタートしました。

障害者総合支援法の理念に基づき多機能型事業所の役割を果たすべく、就労継続支援B型・生活介護に於いて事業を展開して参りました。

就労継続支援B型に於いては、一昨年の反省に基づき、年度当初から販売の機会を通して、収入の向上それに伴い、製品の開拓に取り組んで参りました。しかしながら、年明けからの新型コロナの影響を受け、特に製菓事業に於いては、注文のキャンセルが相次ぎ、大きな影響を受けた年度となりました。

生活介護に関しては、外部講師を招いてのゆとりメニューを継続し、利用者の暮らしのゆとりを考えてきました。内容は充実しているのですが、再検討の必要性も感じ、今後の課題として次年度継続して検討をしていく事となりました。

作業収入に関しては、積極的な販売機会への参加を通して増収に向けて努力して参りましたが、昨年に続いて厳しい年度になりました。利用者の重度化・高齢化と言った中、現状を如何に保っていく事が出来るのかと言う状況でした。B型の支援費との兼ね合いで、工賃積立金の取り崩しを考えた中で検討して参りましたが、取り崩しの対応する事無く現状をкаろうじて維持することが出来たことを報告致します。

（1）利用者の状況

① 定員および在籍数

2020年3月31日現在

	定員数	現員数	補足
生活介護	14人	14人	3月31日付介護施設へ移籍
就労継続支援B	21人	22人	2月27日付他施設就労移行移籍
計	35人	36人	

② 年間利用者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
月 初 人 数	生活介護	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	12.4
	就労B	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	23	24.5
	計(A)	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36	37
通 所 日 数	最高	21	22	21	23	19	20	23	21	21	20	19	21	
	最低	7.5	7	6.5	6	1	1.5	3	1	1	1	1	1	
月延人数		679	712	663	721	581	625	732	647	644	601	572	613	7790
1日平均利用人数(B)		32.3	32.4	31.6	31.3	30.6	31.3	31.8	30.8	30.7	30.0	30.1	29.2	31.0
開所日数		21	22	21	23	19	20	23	21	21	20	19	21	251
通所率(B÷A)		87.3	87.6	85.4	84.6	82.7	84.6	86.0	83.2	83.0	81.0	81.3	81.0	83.8

参考：2018年度 通所率 86.6%

就労継続支援B型（現員 22 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人員	477	495	463	499	403	435	511	422	427	407	385	421	5,345
開所日数	21	22	21	23	19	20	23	21	21	20	19	21	251

2019年度平均利用者数：21.3人

生活介護（現員 14 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人員	202	217	200	222	178	190	221	225	217	194	187	192	2,445
開所日数	21	22	21	23	19	20	23	21	21	20	19	21	251

2019年度平均利用者数：9.74人

③ 年齢構成

	～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	計	平均
生活介護	0	3	1	2	3	1	1	11	46.5
就労B型	3	9	3	6	1	3	1	26	30.0
計	3	12	4	8	4	4	2	37	40.8

④ 在籍状況

	～5	6～10	11～20	21～30	31～40	41～50	計	平均年数
生活介護	2	1	1	3	3	2	12	25.4
就労B型	4	8	7	2	0	4	25	15.6
計	6	9	8	5	3	6	37	18.8

⑤ 療育手帳取得状況

	A	B	計
生活介護	9	3	12
就労B型	19	6	25
計	28	9	37
全体比	76%	24%	

⑥ 就労継続支援B型 2019年度平均工賃

総支給人数 ③	総就労時間 ①	工賃支払総額 ②	平均工賃月額 ②÷③	平均工賃時間額 ②÷①
264人	31,702時間	3,145,100円	11,913円	99円
参考 2018年度	平均工賃月額 12,922円	平均工賃時間額 105.2円		

➤ 2020年度就労継続支援B型報酬区分 ¥10,000～¥20,000区分の継続
 (参考) 生活介護平均工賃 2018年度¥6,052 2019年度¥6,972

(2) 活動実績

① 作業内容

	作業班	作業内容	製品
受注	紙工	紙箱 (トムソン箱)	八ッ橋他の菓子箱
自主	テキスタイル (織物・編物)	織り・刺し子・絵・染め 機械編み・手編み	織り(職員の学習) 刺し子 (ふきん) 機械編み (靴下他) 手編み (菊ざぶとん、帽子、アクリルたわし他)
	製菓	クッキー・他	クッキー (胡麻、抹茶他) マドレーヌ
	ペーパークラフト	紙製品・モザイクタイル	紙製品 (名刺、はがき、便箋、ぽち袋他) タイル (ピンチホルダー他) 絵 (カード、カレンダー他)
	陶芸 (生活)	手びねり・石膏型	オブジェ (カエル作品、花器他)
	陶芸 (就労 B)	型もの・アクセサリー マグネット	食器 (皿、器、他) ろうそく立 (下請) アクセサリー (ブローチ、イヤリング)
	喫茶 カフェなづな	接客 パン販売(火・木・金)	コーヒー (コロコロ)・紅茶 かしの木製造パン 工房ソラどら焼セット 小豆アイス・くずきり・他 季節限定メニュー

(3) 年間行事実施状況

別紙参照願います

(4) 設備改修、備品等の取得状況

区分	内容	対応	金額 (円)
備品等	軽減税対応レジ	大塚商会	25,920
改装等	学園植木剪定	河原造園	22,000
建物附属設備	陶芸窯修理	松本築炉	54,086
	老人デイサービス内倉庫整理	谷口住建	64,800
	および旧結束機処分 屋上鉄扉取り換え	谷口住建	68,040
合計			234,846

項 月	行事(全員参加)・販売	行事・見学(希望者参加)	防災訓練	健康管理・衛生管理	会 議 等	職員研修	実習生・ボランティア・見学・他
4 月	新規利用者入所式(4/1) 新規採用職員着任(4/1) 山口職員 異動職員着任(4/1)長畑職員 平成 31 年度始業(4/1) 府庁観桜祭(4/7) 大照学園バザー(4/7) 東山支援学校入学式(4/10) なづな学園創立記念日(4/12) 利用者給料とボーナス(4/15) 利用者 2019 年度一時金支給(4/26)	ゆわいわい(4/3) ゆストレッチ(4/8) ゆ音楽活動(4/22) ゆ機能訓練(4/17) 希ストレッチ(4/24) ゆアフリカンダンス(4/25) ゆゆったりアート(4/30) 余暇支援(4/20)		保健(4/2) 保菌検査(4/22)	法人管理者会議(4/4・9・18) 親の会役員会・保護者会・親の会(4/9) 職員朝礼【毎朝 8:30~8:45 連絡・打合せ】 利用者自治会(4/10) 職員会議(4/11・18・25) 利用者役員会・自治会(4/18) 東山社協総会(4/19)於東山区社協(南参加) 京都工芸大訪問(4/19) 小松谷保育所職員訪問(4/22) フィールドミュージアム IFMA 来園(4/24)		京都府立盲学校教員来園(4/3) 上新町内会総会(4/13) 於学園 京都市北支援学校進路教員来園(4/23) 天皇退位平成末日(4/30)
5 月	給料日(5/15) 前期個別懇談開始(5/20) ぶらり嵐山販売(5/4) 力の湯販売(5/6)	ゆストレッチ(5/20) ゆ音楽活動(5/13) ゆわいわいアート(5/8) ゆ音楽療法(5/17) ゆ機能(5/29) 希ストレッチ(5/27) ゆアフリカンダンス(5/14) ゆゆったりアート(5/28) 佛大どんぐり催し(5/18) クラシックコンサート(5/22) 余暇支援佛大どんぐり(5/18)		保健(5/7) 保菌検査(5/27)	法人管理者会議(5/9・16・31) クラシックコンサート会議(5/13) 利用者役員会・自治会(5/14) 法人監事会(5/23) 旅行説明会(5/29) まちかどミュージアム会議(5/24) 法人 50 周年記念誌会議(5/27) 職員会議(5/9・16・23・30) ほっとはあと総会(5/29) 京都府集団指導(5/31) 東山デイサービス会議(5/30)法人・管理者	メンタルヘルス研修(5/31) 堤 食中毒感染症予防研修(5/31) 矢島	天皇即位令和初日(5/1) 京都女子大太田ゼミ懇談(5/24) 京都市東支援学校進路教員来園(5/29) 京都府人材サポートセンター(5/29)法人管理者
6 月		ゆわいわいアート(6/17) ゆストレッチ(6/7) ゆ活動(6/10) ゆアフリカンダンス(6/18) ゆ音楽療法(6/21) ゆ機能機能(6/26) 希ストレッチ(6/24) ゆゆったりアート(6/25) なづな・かしの木交流会(6/8) 学園日帰り家族旅行(6/5)		保健(6/4) 内科検診(6/15) 保菌検査全員(6/10~) 保菌検査:喫茶製菓世話人(6/21)	法人理事会(6/7) 東山社協理事会(6/20) 法人評議員会・理事会(6/24) 職員会議(6/6・13) 利用者役員会・自治会(6/19)	ミュージックケア体験研修(6/9) ビジネスマナー研修(6/13) 内部研修コミュニケーション(6/15)	学園 LED 化工事(6/8) 学園前植木剪定(6/20) 事業所・カフェ:グリストラップ(6/22) 東山支援学校運営協議会(6/24) 京都女子大太田ゼミ懇談(6/25)
7 月	利用者工賃・ボーナス支給(7/15)	ゆ創作活動(7/1) 希ストレッチ(7/8) ゆ機能(7/24) ゆ音楽療法(7/26) ゆわいわいアート(7/3) ゆゆったりアート(7/30) 東山社協七夕会(7/4) いきいきサタデー(7/20)	避難訓練(7/24)	保健(7/2)	職員会議(7/4・11・18) 修道ふくし祭り打合せ(7/11) 陶芸座談会(7/5) 利用者役員会・自治会(7/24) 東山福祉展会議(7/18) 軽減税レジ検討会(7/19) 法人理事会(7/25) 保護者会・役員会(7/9)	てんかん基礎研修(7/23・24) キャリアアップ研修(7/10) 内部研修税の在り方学習会(7/25) 講師:春宮	京都女子大太田ゼミ地域と福祉学習会(7/22) インターンシップ(7/29・30) 利用者:他施設実習タイム(7/26) 大塚商会レジ打合せ(7/19)
8 月	五条坂陶器祭り(8/7~10) 夏期休暇(8/14~16) 修道夏祭り(8/31) 地域地蔵盆(8/25)	ゆストレッチ(8/5) ゆわいわいアート(8/7) ゆゆったりアート(8/27) ゆ音楽活動(8/26) ゆ音楽療法(8/23) 希ストレッチ(8/19) ゆアフリカンダンス(8/20) ゆ機能訓練(8/21)	消火器具点検(8/8)	保健(8/6)	利用者役員会・自治会(8/21) 職員会議(8/22/29) 修道夏祭り会議(8/21) 地域共生社会説明会(8/22) 陶芸座談会(8/30) 東山社協福祉助成審査会(9/10) 呉竹支援校進路打合せ(9/10)	法人合同職員会議担当者(8/1) 法人職員夏の集い(8/28) まちかどアート工芸大訪問(8/1) デザイン研修(8/8) 地域福祉推進セミナー(8/30) 内供研修税の在り方学習会(8/29) 講師:春宮	府立盲学校見学(8/21) 北支援学校進路来園(8/21) 嵯峨美大見学(8/27) 龍谷短大 2 人 8/29~9/11 実習 付属支援学校進路教員来園(9/9)
9 月	修道学区防火のタペ(9/22) 東山福祉施設展(9/10~13) 地域交流行事 9/21) 東山支援校東山祭(9/20)	ゆ音楽活動(9/30) ゆストレッチ(9/9) ゆわいわいアート(9/4) ゆアフリカンダンス(9/26) ゆ音楽療法(9/20) 希ストレッチ(9/27) ゆ機能訓練(9/18) ゆゆったりアート(9/24)		保健(9/3) 健康相談(9/17)	陶芸座談会(9/25) 製菓座談会(9/30) 利用者役員会・自治会(9/18) 職員会議(9/5・12・19・26)		B 型利用者 1 人 2 日~1 6 日就労移行施設実習 付属支援学校進路教員来園(9/9) 呉竹支援校進路訪問(9/10) 北支援校進路訪問(9/11) 東支援校進路訪問(9/12)

							東支援校高等部3年1人実習(9/17~20) ふらっぷヘルパー講習会講師2人派遣(9/21・22) 丹波橋心の相談室来園(9/9) 朱常バナナ寄贈(9/11)
10月	ニッセン販売(10/9) 修道福祉まつり(10/19) ほほえみ広場梅小路(10/19) なづな作業見学会(10/26) 朱常分店バナナ寄贈(10/3) 修道学区体育祭(10/6) 修道学区防災訓練説明会(10/23) 京都府庁鑑芸会販売(10/27) 即位礼正殿の儀休園(10/22)	☺ストレッチ(10/4)☺音楽活動(10/21) ☺アフリカダンス(10/24) ☺ストレッチ(10/25)☺機能訓練(10/9) ☺ストレッチ(10/4)☺ゆったりアート(10/29)	京都市防災表彰式(10/15)	保健(10/1) 健康相談(10/17) 内科検診(10/31) ※インフルエンザ予防接種	職員会議(10/3・24・31) 東山支援校学校運営委員会(10/28) まちかどアート会議(10/10) 嵐山建設委員会(10/4) 親の会役員会保護者会(10/8) 自治会(10/8)		
11月	東山区民ふれあい祭り(11/4) 東山区社協評議員会(11/22) まちかどミュージアム(11/16~17) 嵐山陶あそび(11/1~4) まちかどミュージアム反省会(11/20)	☺わいわいアート(11/6)☺ゆったりアート(11/8) ☺ストレッチ(11/29)☺機能訓練(11/20) ☺アフリカダンス(11/21)☺創作活動(11/25) ☺音楽療法(11/15)☺ストレッチ(11/29) ※京都工芸大学ゆったりアート参加(11/8)	修道学区防災訓練(11/10)	乳がん検診(11/1) 保健(11/5) 健康相談(11/19)	職員会議(11/7・14・28) 利用者自治会(11/22) ※インフルエンザ講習(かんのん)	京都府社協法人役員研修会(11/12) 東山区地域シンポジウム(11/28) 京都府虐待とメンタルケア研修(11/29) 京都市役所推進室職員訪問(11/28) ※販売に関して	オーグス総研来園パソコン寄付(11/7) 花園大学安田教授と学生来園進路相談(11/10) 京都市北支援学校訪問進路(11/12)
12月	なづな展(12/13~15) 東山社協クリスマス会(12/13) プチ忘年会(12/25) 仕事納め(12/28) 上新シ町町内親睦会(12/8) 館内電話配線工事(12/21)	☺音楽活動(12/16) ☺ストレッチ(12/6)☺音楽療法(12/20) ☺アフリカダンス(12/24)☺機能訓練(12/18) ☺ストレッチ(12/23)☺ゆったりアート(12/5) 余暇支援(12/21) 丹波大納言(小豆収穫)(12/5)		保健(12/3) 健康相談(12/17)	職員会議(12/5・19) 利用者自治会(12/25) 保護者会・親の会(12/10)・ ケース担当者会議下京区役所(12/2) 小豆収穫八木町(12/6))	朱常バナナ寄贈(12/5) 花園大学就職課来園(12/19)
1月	利用者仕事始め(1/6) 在卒園生つどい(1/26) 左京区役所販売(1/31) 西本願寺バザー(1/10)	☺ストレッチ(1/10)☺わいわいアート(1/8) ☺機能訓練(1/22)☺音楽療法(1/20)☺音楽療法(1/17) ☺ゆったりアート(1/28)☺アフリカダンス(1/23) ☺ストレッチ(1/29)余暇支援(1/18)	健康相談(1/14)	保健(1/7)	職員会議(1/9・16・30) 利用者自治会(1/22)	東山区社協評議員会(1/22) なづな・かしの木交流行事会議(1/23) 東部圏域福祉事業所フェア(1/29)	光華女子大実習オリエンテーション(1/7) 光華女子大実習(1/28~10日間) 就労B利用者他施設実習(1/27~31)
2月	節分豆まき(2/3) 法人新春の集い(2/15) 法人理事会(2/5)	☺ストレッチ(2/7)☺わいわいアート(2/5) ☺機能訓練(2/19)☺音楽活動(2/12/17) ☺アフリカダンス(2/20)☺音額療法(2/21) ☺ゆったりアート(2/5)☺ストレッチ(2/16) なづな・かしの木交流行事(2/8)		保健(2/4)健康相談(2/18) 胸部レントゲン(2/17・21)	職員会議(2/13・20) 自治会(2/18) Haccp研修(1/30)	食品衛生管理者講習会(2/4) 東山支援校学校運営協議会(2/25)	光華女子大実習(2/12~26)
3月	ひな祭りお茶会(3/3) 退職辞令式(3/31)	☺わいわいアート(3/4)☺音楽活動(3/9) ☺機能訓練(3/25)☺音楽療法(3/13) ☺ゆったりアート(3/24) ☺アフリカダンス(3/26)☺ストレッチ(3/23)	東山消防合同避難訓練と査察(3/22) 京都市シェイクアウト(3/5) 京都市防災備品受け取り(2/13)	保健(3/4) 健康相談(2/17)	職員会議(3/12・19・28) 自治会(2/25) 親の会役員会(3/4)	食品表示ラベル確認(3/19)	

2. かの木学園

- (1) 令和1年度は就労移行に1名、就労Bに3名の利用者を迎え、利用者59名、常勤職員16名でスタートした。2名が出産育児で休暇となったが、パートの協力等人員補てんをしないで年度を終えた。途中生活介護利用の2名が退園となった。就労移行からの一般就労は1名だった。

多機能型事業所として個別支援計画をもとに、下記のとおり実施した。

高齢化対応として、送迎を増員しゆったりグループを設置。個別プログラムに取り組んだ。

- ・生活介護事業

作業活動に参加するとともに、利用者の生活に癒しと意欲、健康増進を図る生活介護活動を希望選択制で実施した。作業活動としてパンの製造販売、陶芸、縫製、箱折、各種受注作業等を実施。生活介護活動として、アート、音楽、運動、足湯、地域清掃、散歩等を実施。その他ゆったりグループを設置し、6名の高齢者支援対応を個別に行った。

- ・就労継続支援B型事業

作業活動と社会参加活動の融合で、自立と生き甲斐のある生活が出来ることを目指した支援を目指す。作業活動としては、パンの製造販売、コーヒー焙煎販売、銭湯清掃、箱折、各種受注作業を行う。

- ・就労移行支援事業

事務所を東山区馬町に設置し、一般就労を目指す諸活動を実施。

活動内容は、清掃作業、各種受注作業、一般就労に向けた各種研修・実習。関連機関と連携を基に取組みを進めている。令和元年度は1名が一般就労者となった。

(2) 利用者の状況

① 定員および在籍数

令和元年度

	定員	在籍数 (R2.3.31)
生活介護事業	26	29
就労継続支援B型事業	23	25
就労移行支援事業	6	5
合計 (多機能型事業所)	55	59

② 年間利用者数の推移

令和元年度

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
月 初 人 数	生活介護	31	31	31	31	30	30	30	29	29	29	29	29	29.9
	就労B型	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	就労移行	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8
	計(A)	60	60	60	61	60	60	60	60	59	59	59	59	59.6
通所 日数	最高	22	22	22	23	19	20	23	22	21	20	19	22	21.3
	最低	8	10	6	11	9	7	9	11	6	9	3	1	7.5
1日平均 利用者数 (B)		52.8	54.6	55.4	56.2	58.1	53.9	55.2	51.8	51.7	52.7	52.6	52.9	54.0
開所日数		23	22	22	23	19	20	23	22	21	20	19	22	21.3
通所率% (B÷A)		88.0	91.0	92.3	92.1	96.8	90.0	92.0	87.8	87.6	89.3	89.2	89.7	90.6

③ 年齢構成

(人) 令和2年3月31日現在

	～20歳	21～30	31～40	41～50	51～60	61～64	65～	計	平均
生活介護	0	2	5	7	5	3	7	29	50.9
B型	4	6	4	2	3	1	5	25	40.9
就労移行	3	1	1	0	0	0	0	5	24.0
合計	7	9	10	9	8	4	12	59	46.1

④ 在籍年数

(人) 令和2年3月31日現在

	～5年	6～10	11～20	21～30	31～40	41～	合計	平均
生活介護	0	2	5	9	5	8	29	29.0
B型	9	4	4	5	1	2	25	14.7
就労移行	5	0	0	0	0	0	5	1.8
合計	14	6	9	14	7	10	59	19.8

⑤ 障害支援区分状況

(人) 令和2年3月31日現在

	1	2	3	4	5	6	未判定	合計	平均区分
生活介護	0	0	0	13	12	4	0	29	4.7
B型	0	1	1	14	3	0	6	25	
就労移行	0	0	2	0	0	0	3	5	
合計	0	1	3	27	15	4	9	59	

⑥ 療育手帳取得状況（知的障害の程度） (人) 令和2年3月31日現在

	A	B	計
生活介護	28	1	29
B型	11	11	25 未判定 3
就労移行	2	3	5
合計	41	15	59

A：最重度、重度 B：中度。軽度

⑦ 身体障害者手帳 及び 精神障害者保健福祉手帳 取得状況

(重複障害の状況) (人) 令和2年3月31日現在

	視覚	肢体	言語	聴覚	内部	精神	計
生活介護	1	4	3	1	1	1	11
B型	0	1	0	2	2	0	5
就労移行	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	5	3	3	3	1	16

(3) 活動実績

① 就労（授産）作業の状況

作業	作業・製品
清掃	東山洛東園の清掃, 戎湯の清掃, 駅 ATM の清掃
陶芸	かわらけ、湯呑、皿、箸置、カップ等の製作
受注	菓子箱、各種箱の箱折 その他
縫製	コースター、ティッシュケース 等の製作
パン	サンドイッチ、各種パンの製造・販売 喫茶営業
珈琲	オリジナルコーヒーの焙煎、豆・ドリンク販売

② 利用者工賃（令和元年度）

単位：円

種別	支給回数	支払額			合計
		生活介護	B型	就労移行	
給料	各月	2,294,400	3,909,510	1,060,148	7,264,058
賞与	夏、冬、決算	363,420	618,170	384,060	1,365,650
全利用者年間総額		2,657,820	4,527,680	1,444,208	8,629,708
1人	年間平均額	91,649	181,107	240,701	154,102
1人	月平均額	7,637	15,092	20,058	12,842

(参考)

単位：円

	支払総額	1人年間平均額	1人月平均額
27年度	7,340,268	133,946	11,162
28年度	6,943,246	128,579	10,715
29年度	7,193,732	130,795	10,900
30年度	7,578,995	135,339	11,278
R元年度	8,629,708	154,102	12,842

(4) 年間行事、防災訓練、健康・衛生管理、会議、職員研修等の実施状況
別紙のとおり

(5) 設備改修、備品取得の状況

備品等	金額	設備改修	金額
		エアコン室外機	500,000円

(別紙) R元年度 行事等実施報告書 施設名：かしの木学園

項目	行事	製品販売	健康管理	職員研修	園舎メンテナンス	実習・見学等	月
4月	入所のつどい	ナースフェスタ	身長・BMI測定(全員、学園) 保菌検査(パン職員・利用者 CH 世話人)	焙煎機セミナー	関電検査		4
5月	ハイキング 就労OB会	スポーツフェス 右京子供まつり 西七条まつり	歯科検診、菌磨指導(全員、学園)	キャリアアップ初任者研修	消防点検 エアコン清掃、害虫 駆除	施設見学：西総合	5
6月	なつな交流行事		保菌検査(パン職員・利用者、 CH 世話人)	建築視察 熊本 ビジネスマナー研修 共済会ポーターリング大会	床清掃、害虫駆除 関電検査	施設見学：呉竹総合 北総合 西総合 花園大	6
7月	ワークショップ(珈琲)		内科健診(石居医師、全員、学園)	知福協施設長研修 相談支援研修 建築視察 新潟	害虫駆除	施設見学：北総合 東山総合 呉竹	7
8月	学園旅行	五条坂陶器まつり あかしやふれあい祭 スポーツセンター夏まつり 体育館フェスタ 朱八ふれあい広場	保菌検査(パン職員・利用者、 CH 世話人)	職業支援研修	害虫駆除 関電検査	社会福祉実習 花大 インターンシップ 施設見学：東山	8
9月			保菌検査(利用者・職員全員) 胸部X線健診(39歳以下、中京)	移動支援従事者研修	害虫駆除	見学：華頂短大 呉竹支援	9
10月	日帰り旅行 ハイキング	芝生まつり 三菱まつり 中京ふれあい祭り 刑務所まつり	保菌検査(パン職員・利用者、 CH 世話人)	職業支援研修 キャリアアップ研修 近畿 SELP 研修	害虫駆除 関電検査	施設見学：教育大付属 花大 実習：西総合	10
11月	とっておき芸術祭	西本願寺保育園バザー 陶遊び販売 もり漬物祭り あかしやふれあいまつり ヒューマンフエスタ	内科健診(石居医師、利用者全員) インフルエンザ予防接種		床階段清掃、消防点 検 エアコン清掃	見学：西総合	11
12月	忘年会	スポーツセンタークリスマス会	保菌検査(パン職員・利用者、 CH 世話人)	キャリアアップ研修(新人) 虐待研修	関電検査	施設見学 東総合 西総合 実習 東総合	12
1月	ワークショップ(陶芸、 パン)	看護協会 西本願寺報恩講	乳がん健診(希望者、中京保健セ)			見学：北総合 実習：西総合 保育実習：光華女子大	1
2月	なつな交流行事		子宮がん検診 保菌検査 胃がん健診(40歳以上、右京保) 大腸健診(40歳以上、右京保健)	新春のつどい	関電検査	実習：西総合 呉竹総合 保育実習 光華大名 インターンシップ	2
3月	ワークショップ(レザー)				害虫駆除		3
年間を通して実施したもの	○かしの木だより(偶数月、隔月発行) ○ワイワイひろば(利用者全員対象、毎月第3土曜) ○生活介護活動(アート月1回、音楽月2回、運動月2回、ごみコロリ・お楽しみ月1回) ○利用者自治会(毎月1回、利用者全員参加) ○利用者誕生日希望メニュー ○チーフ会議、就労会議(月1)		保菌検査 ・CH 世話人、パン担当の職員と利用者(1回/2か月) ・その他職員・利用者(1/年) 利用者体重測定(毎月)	【会議等の開催状況】 ① 職員会議(毎水曜、常勤職員) ② 保護者会(毎月1回) 保護者会役員会(毎月1回)	毎月定期点検 ・グリストラップ ・1.2階エアコン清掃 ・エレベーター(隔月実施)		

3. サービスセンターふらっふ

1. 概況

令和元年度の事業については、（実際に利用があった）利用者数は 148 人と横ばいであった。

職員は常勤 10 名と非常勤 2 名、登録ヘルパー 26 名の組み合わせによりスタートしたが職員、ヘルパー（新規 4 名増、退職 4 名）の増減はなかった。

主な課題としては、

- 高齢化・重度化する利用者への生活支援のあり方、利用者の家族の諸事情に起因する生活を共に支えていく家庭機能の低下に伴う支援のあり方等について、職員及び登録ヘルパーの介護スキルの向上が喫緊の課題となっている。又、発達障害等多様化する利用者への支援についても、知識習得が必要である。
- 学生ヘルパーの卒業、登録ヘルパー高齢化によりヘルパー確保が必須となっていてガイドヘルパー講習での育成、新規募集を重ねているが昨今の就職情勢で厳しい状況である。募集の方法だけでなく処遇面の制度改訂など含め検討を重ねたい

2. 30 年度の事業数値

① 男女別利用者数 (名)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
男性	65	58	60	57	54	49	50	50	53
女性	100	106	104	107	94	96	97	97	95
合計	165	164	164	164	148	145	147	147	148

② サービス提供時間数(月平均時間)推移 (時間/月)

移動支援が減少し行動援護が増加の傾向がある。介護保険は次第に増加している。

種 別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
居 宅 介 護	301	303	314	329	308	289	289	263	253
重度訪問介護	—	—	—	—	9	16	17	18	16
行 動 援 護	170	224	322	318	334	323	331	415	456
移 動 支 援	1771	1709	1476	1357	1148	1105	1063	1053	1000
介護保険対応							15	27	34
合 計	2242	2236	2112	2004	1799	1731	1714	1776	1759

③ 行政区分布

(名)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
右京区	63	62	66	66	61	62	62	63	66
中京区	26	26	23	24	23	19	21	21	19
北 区	12	12	11	11	8	8	9	9	9
西京区	11	11	11	11	10	9	9	9	9
下京区	10	9	12	10	11	10	12	12	12
南 区	12	12	9	8	8	7	8	8	8
左京区	7	7	7	7	4	6	5	4	4
上京区	8	8	9	9	7	7	6	6	6
山科区	6	6	5	6	4	3	4	4	4
東山区	4	4	4	5	4	5	4	4	4
伏見区	6	6	7	7	8	9	7	7	7
合 計	165	164	164	164	148	145	147	147	148

④ 日中所属先分布 (学園関係者：なづな、かしの木、わかかなで57%)

(名)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
なづな学園	27	28	31	28	28	25	24	24	24
かしの木学園	42	42	41	45	43	42	53	53	53
その他施設	45	45	48	54	46	55	56	56	57
在宅(就労)	19	15	13	13	11	8	7	7	6
児 童	32	34	31	24	20	15	7	7	8
合 計	165	164	164	164	148	145	147	147	148

⑤ 年齢構成分布(平均年齢 H30 40.1才→R1 41才)

(名)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
～9 歳	7	3	3	1	0	1	0	0	1
10～19	37	38	31	28	26	19	17	8	7
20～29	37	40	39	34	32	31	31	38	34
30～39	22	24	27	35	32	32	32	33	39
40～49	32	29	28	32	26	28	30	26	21
50～59	18	17	22	19	15	15	16	20	24
60～64	8	7	9	10	11	11	10	9	6
65～	4	6	5	5	6	8	11	13	16
合 計	165	164	164	164	148	145	147	147	148

3. 業務振返りと登録ヘルパー、利用者の状況

(1) 振り返り

①昨年度事務効率化を目指して導入した業務システム（ヘルパーアシスト請求）を活用している。支援配置業務や請求業務連携などで効率化は進んでおり、さらに機能を活用し効率化を進めていきたい。

②利用者数については維持、支援時間数は移動支援が減少、介護保険、行動援護が増加、全体で若干減となった。支援時間の増加は希望時間の重なりとヘルパー不足により困難な状況にある為、利用者・家族のニーズをくみ取りながらも、時間調整や支援内容提案を続け、希望に沿えるように工夫を重ねたい。

③職員は所長以下10名（男子5名女子5名）で昨年比増減なしである。登録ヘルパー総数は**26名**、学生・主婦ヘルパー以外に、大学の紹介で中途採用の男性、介護経験者のヘルパー女性が新たに入職された。（4名増4名減）求人は常に継続しており、口コミでのリクルート、ハローワーク、求人誌等募集実施及びヘルパー手当改訂を実施したが、応募者は増えていない。

(2) 研修

研修への職員参加、ヘルパー連絡会（年4回実施及び個別連絡会月1回）等の開催により、一定の資質の向上は果たしている。介護労働安定センターからの外部講師派遣での職員ヘルパー研修を2回行った。今後は登録ヘルパーの参加率をどのようにして上げるのかが課題である。

月1回小規模でヘルパーと会議・研修していることで細かな支援の情報共有ができるようになった。

(3) 地域に向けての貢献事業について

「知的障害者移動支援従業者養成研修」の開催は、当初5月と9月に予定したが9月のみ実施できた。受講者数は7名。講師や講義内容の内製化などでコストを減らして、今後も継続して実施していきたい。

(4) ヒヤリハット・事故報告及び苦情受付等

昨年度からの課題のヒヤリハット報告増のため「書式の変更」、「ヘルパーからの提出を促す」、「ヘルパー会での紹介」等の対策を行い、結果として1月時点で22件の提出を見た。今後は分析と全ヘルパーへの周知を考えたい。京都市への事故報告については0件であった。

(5) ふらっふ通信・ブログ・HP

ふらっふ通信は年3回発行、職員及びヘルパーの記事を主に掲載。ブログは年2件のみの更新であった。どのような内容を誰に配信するのか再検討が必要。SNSの媒体（フェイスブック、インスタグラム等）の使い勝手なども考慮してどのように定期配信するのが課題である。

4. わかな

1. 概況

放課後等デイサービス事業所「わかな」は、今年度新規契約4名（年度途中含む）と、既存利用児童の利用日数増によって、昨年度より若干利用者数が増えた。

報酬に係る事業所区分も1の1（重度利用者の割合50%以上）に認定されたことで影響なく人員配置が可能であった。毎年見直しがあるため区分が下がった場合の対応策などは引き続き課題としてとらえている。

今年度は、より個々の発達段階を意識し、集団プログラムの中にも個別の目標設定や、可能な限り学校の包括支援計画ともつながりのある過ごしができるよう努めてきた。

今後は「できたこと」「継続して取り組むこと」をそれぞれ明確にし「わかなに行ったらこんなことができるようになった」ことの見える化を目指す。

2. 利用者の状況（令和2年3月末日現在 契約者数 32名）

年齢分布	平成30年度		令和元年度	
	人員	比率	人員	比率
小学生	13名	45%	15名	47%
中学生	10	34	10	31
高校生	6	21	7	22
合計	29	100	32	100

男女比	平成30年度		令和元年度	
	人員	比率	人員	比率
男性	18名	62%	21名	66%
女性	11	38	11	34
合計	29	100	32	100

行政区	平成30年度		令和元年度	
	人員	比率	人員	比率
右京区	25名	86%	27名	84%
中京区	3	11	4	13
西京区	1	3	1	3
合計	29	100	29	100

学校別人員	平成 30 年度		令和元年度	
	人 員	比 率	人 員	比 率
西総合支援学校	13 名	49 %	15 名	47 %
その他支援学校	4	13	4	13
地域小学校	11	38	13	41
合 計	29	100	32	100

年間利用者状況

平均利用者数の伸びがみられるが、伸び幅は落ち着いてきている。。

利用者数	延べ利用数	開所日数	1 日平均
H26 年度	1682 名	303 日	5.5 名
H27 年度	1954	306	6.4
H28 年度	2045	303	6.7
H29 年度	2087	303	6.8
H30 年度	2235	298	7.5
R1 年度	2352	301	7.8

3. 重点課題の振り返り

(1) 福祉サービス収益の拡大を図る

- ・平均利用者数拡大（H30 年度平均 7.4 名から 0.5 名程度増加させる）
→7.8 名と若干目標には達しなかった。（上記表参照）
- ・利用者の要望に極力答えられる努力を行う
→通常と異なる送迎場所や、プログラム・個別課題等支援への要望にも
応えられるよう努めた。

(2) 利用者への支援の質と満足度の向上を図る

- ・児童の自立育成への取り組みを開始する（基準設定と結果の見える化）
→生活スキルに関する個別の課題（トイレ、食事等）について保護者と
連携しながら継続して取り組んでいる。見える化は引き続き課題。
- ・個々の児童の状況と目標レベル明確化と共有、モニタリング実施
→半年に 1 回モニタリング実施。毎日児童の様子を記録し、電子会議室
／ケース記録にて共有。日々の成長への気付きが引き継げる仕組み。

- (3) 音楽療法や個別療育支援、集団レク等の積極的実施を行う
- ・音楽療法：毎月第3木曜十字屋カルチャーより派遣。
 - ・個別療育：宿題、個別課題を使った活動、日常生活に関わる活動、絵カードを使った意思を伝える経験の積み上げなど
 - ・集団プログラム（お買い物遊び、お出かけ、創作活動、体操、調理、つながり遊び）を毎日ランダム実施。
 - ・ミニ作品展：2月に右京ふれあい文化会館にて実施。12月には初めてなづな展にも参加し、昨年にも増してさらに多くの方々に子どもたちの作品を見ていただくことができた。わかなの雰囲気や事業内容も知ってもらえるよい機会となった。
- (4) 保護者と定期的(年2回)懇談し、自己評価や保護者満足度向上に生かす
→6月、11月に実施。参加者は減少傾向にあり、開催頻度の検討が必要。
- (5) 苦情への早期対応、ヒヤリハット・事故・災害への対応体制作りを強化
自然災害への対応情報発信、ヒヤリハット事故などの情報共有
→毎月ヒヤリハット検討会の実施。防災対策担当の配置により、避難訓練・スタッフへの防災啓発・災害対策設備の検討を実施した。
- (6) スタッフの確保と職員知識、技術レベルの向上を図る
- ・職員の支援技術向上のためミーティング、研修を継続的に実施する
→スキルアップのミーティングを2ヶ月に1回程度。外部研修報告、支援チェックリストの振り返り意見交換会を実施。
 - ・職員、スタッフの情報共有を推進し、スタッフにもっと企画へ関わってもらおう仕組みを検討する
→児童指導員を中心に製作や物品管理、イベント企画、防災対策等担当を割り振って業務にあたっている。
 - ・情報共有については、タブレット2台でデスクネットの電子会議室を使用し、児童の直近トピックス、その他引継ぎ事項の共有を行った。
- (7) 業務フローの見直しと作業効率化を行う
- ・シンフォニーに代わる効率よいシステム導入
→メイプル日誌Ⅲの導入により、利用状況の把握が容易になった。日誌、ヒヤリハット報告書の移行検討をしている。連絡ノートの電子化も次年度には検討したい。

5. グループホーム

(1) 概要

※1 ホームウエストとはホームなづなとホームななくさをまとめた名称で会計上の拠点区分に対応。

※2 ホームイーストとはホームかしの木とホーム花園をまとめた名称で会計上の拠点区分に対応。

ホームウエストとホームイーストの一体化をめざしかしの木の職員とそれぞれのホームの問題に対し協力して取り組んでいる。利用者の高齢化、重度化、世話人の高齢化、慢性的な世話人不足、スキルの問題など懸念されていた事柄が現実問題となり本部からの応援を得て業務のマニュアルの作成・法人男子職員の応援を得て業務の見直し等に着手。男子職員の現場での経験を“新嵐山”に繋げていきたい。

ホーム利用者状況

令和2年3月31日現在

事業所名	定員	利用者数	年齢構成								障害支援区分				
			20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均	2	3	4	5	6
ホームなづな	7	7	0	0	2	3	0	2	0	56	0	0	5	1	1
ホームななくさ	4	4	0	1	0	1	2	0	0	53	0	0	2	2	0
ホームかしの木	8	8	0	0	1	2	5	0	0	60	1	0	2	4	1
ホーム花園	9	8	0	1	1	2	2	1	1	59	1	1	3	2	2
合計	28	27	0	2	4	8	9	3	1		2	1	13	8	4

※ホーム花園は7月末1名退所・10月より1名入居。1室は体験用

平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ホームなづな	5.8	6.3	6.5	6.2	6.1	6.3	6.4	6.4	5.9	5.0	5.5	5.5	6.0
ホームななくさ	3.4	3.4	3.5	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.2	3.7	3.5	3.5
ホームかしの木	7.2	6.8	7.1	7.2	6.8	6.8	7.2	7.1	6.9	7.0	7.0	7.5	7.1
ホーム花園	6.8	7.3	7.3	7.4	6.5	6.4	6.9	6.8	6.6	6.7	7.6	7.6	7.0
合計	23.2	23.8	24.4	24.3	22.6	23.1	24	23.8	22.8	21.9	23.8	24.1	24.0

(2) 支援の状況

① 日常生活支援

- ・個別支援を原則としている。利用者への重度化、高齢化が進み自己表現が難しくなっている。重度化の進む利用者への対応（通院・体調管理）に力を入れ利用者が安心、且つ寛げるホームをめざした。
- ・利用者と世話人の比率は5：1がベースだが高齢化に対応すべく4：1の現行だがそれでも難しいケースの場合忙しい時間帯の世話人補充を行った。

② 余暇活動支援

- ・余暇の充実を図るため、利用者の意向を踏まえた情報提供を心掛け、移動支援サービス利用がスムーズにいくための体調管理、服装、おこずかいの準備などを行った。
- ・連休などは移動支援の外出だけでなく世話人とのホーム付近の散歩等可能な限取り組んだ。

③ 家族との連携

- ・ご家族の高齢化、利用者の重度化が進みご家族との連携と言えば体調管理が中心なので、体調が著しく悪い時・急な発病・突発的な事故・ノロウイルス・インフルエンザ流行時である。この度は昨年末から広がりを見せ、現在も猛威をふるい続ける新型コロナウイルスの感染症対策として、ホームのクラスターを防ぐため各ご家庭と相談の上、帰宅が可能な方には帰宅して頂いた。ご家族はそれぞれ困難な事情を抱えておられ帰宅は難しいのではと思われたが殆どの方は応じて頂いた。改めてご家族の窮状を再認識し介護現場の責任を痛感させられた。
- ・今後の対策については本部を中心に法人職員と検討を続行。

④ 地域住民との連携

- ・ホームによっては家が立て込んでおりご迷惑をかけていることが多いが積極的に声掛けをするなどご近所とのお付き合いを大切にしている。町内会加入、夏祭り・福祉祭・防災訓練等の行事には極力参加している。
- ・最近のご近所にコンビニができ消費者としての立場を、利用者を理解していただく好機に変え幸いにもコンビニの駐車場を利用者の送迎の場として提供していただく等のご縁も得ている。

⑤ ヘルパー利用

- ・入浴・通院・散歩・料理・ジム通い・休日の多様な過ごし方・65歳以上の方のショートステイ・デイケアサービス等の介護サービス利用・学園通園困難な方の日中支援など利用の幅が広がっている。

⑥ ホームスタッフ

- ・世話人には日々の業務マニュアル・利用者支援マニュアルを整備し支援内容を分かりやすく示し、一部ホームでは業務日誌のIT化を目指し日誌の内容の検討を試みる等(将来的にはホーム支援の密室化が解消されるように)業務の徹底とホーム支援の見える可に取り組み始めた。
- ・スタッフの高齢化が目立ち体調の変化による勤務の支障が多かった。利用者の重度化、高齢化にあっても自発性を高める支援が要求されるが長年の勤務による慣れもありスタッフ主導に陥りやすくホーム間の世話人の移動などをこころがけた。
- ・勤務体系が改善され夜間・早朝巡回に時間外手当が付く等賃金アップが実現した。
- ・ヒヤリハットについては毎年業務中のミス共有化を呼びかけているがなかなか浸透しない。

⑦ 研修

- ・かしの木にて職員と世話人合同の虐待研修会が行われた。初めての試みで、夫々

の立場からの意見が交換された。

- ・防災の研修については町内の防災訓練時に火災報知器関係の説明・消火器の使い方、など合わせて行っている。

(3) 設備・備品・修繕等の整備状況

事業所名	内 容	金 額 (円)
ホームなづな	空気清浄機 2 台	19,998
	利用者防災カーペット・カーテン	26,112
	洗濯機	75,000
	浴室エアコン修理	7,200
	LEDライト	12,800
	事務機・イスなど (全ホーム共有)	141,771
ホームななくさ	トイレ給水破裂	32,400
	洗濯機修理	14,630
ホームイースト	合 計	329,911
ホームやまのうち	消火器	8,800
	合鍵	11,500
かしの木ハウス	ウオシュレット	98,000
	便器つまり	21,600
ホーム花園	防災カーテン	3,490
	棚	7,960
ホームウエスト	合 計	151,350
グループホーム全体	総合計	481,261

6. 計画相談支援

事業の運営に当たっては、市町村障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努めた。利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮した。また、学校在学者に対しては新たなサービス 利用の相談や手続き等を行った。

業務の内容としては以下の通りである。

【サービス利用支援】

- 障害福祉サービス等の申請に係る支給決定の前にサービス等利用計画案を作成。作成頻度は概ね1年に1回。
- 支給決定後、サービス事業者等との連絡調整等を行うとともに、サービス等利用計画を作成

【継続サービス利用支援】

- 障害福祉サービス等の利用状況等の検証（モニタリング）
- サービス事業所等との連絡調整、必要に応じて新たな支給決定等に係る申請の勧奨

サービスの支給額は以下の通りである。

概ね年1回のサービス利用支援	1,611 単位/月
概ね6か月ごとの継続サービス利用支援	1,310 単位/月

職員体制としては1名増員し、非常勤専任者1名、常勤兼任7名（なづな1名・ふらっぷ2名・わかな1名、かしの木2名、グループホーム1名）の相談支援専門員を配置。兼務業務の負担にならないよう、ミーティング等はSNS等オンラインの活用で情報共有に心がけた。

利用者の高齢・重度化に伴い今まで必要の無かったところに新たなニーズが生まれたり、高齢家族に対する支援の必要な困難ケースが増えてきており、益々の期待と支援力が求められているが、現行報酬体系のみでこれ以上質の高い支援を求めるには限界を感じている。

令和2年3月現在

	なづな	かしの木	一般	合計
計画実行数	31件	53件	19件	103件
モニタリング実行数	14件	50件	18件	82件